



川島地区 社協だより

第17号

発行日：令和2年1月
川島地区社会福祉協議会



園児が演劇を楽しむ

八月七日、内藤記念くわつ博物館で園児等を対象に劇団「風の子」の演劇を行いました。

演題は「じまから じえで」いつてきます。あいくんはお母さんに赤ちゃんができたことから不機嫌になります。近所に住むおじいちゃんの家へ家出します。途中タンポポの綿毛ひいていくと野原に着き、NJKで出会った不思議な住人とその会話で自分の気持ちが変わるとこあります。

パンを捨てる場面で園児が体を乗っ出したり取り戻したり、悪い奴らが出てくると主人公を応援したり、さらには役者がスッテンと転ぶ場面では大声で笑ったり、園児の気持ちが物語に入り込んだ演劇となりました。

昨年までは親子ふれあい映画会を開催していましたが、参加者が少なくなったことから、今回演劇に代えて行つたものです。劇団との交渉などを担当した社協評議員の高橋さんは「子ども園や小学校PTA等の協力もあり、子供たちも喜んで見てくれて良かったです」と語っていました。

配食サービス

十月十九日、ひとり暮らし高齢者を対象に配食サービスを行いました。

これは高齢者の安否確認をするとともに、美味しい弁当を味わつてもらおうと「あゆみの会」の協力を得て実施したものです。民生委員に届けてもらっている高齢者は、「毎年弁当を届けてもらっています。今は一人きりの生活なので食事も簡単に済ませてしまつ」とが多いです。弁当は魚、



河川環境楽園を歩く参加者

歩いて健康

十月一・十二日、河川環境楽園でノルティックウォーキング講習会を開催、二十五人が歩く楽しさを体験しました。

ノルティックウォーキングは一本のポールを使って歩く運動で、フィンラングで始められました。ポールを使うので転倒の不安が少なく、しかも上半身を使うので、普段のウォーキングより運動量があると言われています。

当日は、ノルティックウォーキン



た。

グの概要説明、ポールの扱い方、正しい姿勢での歩き方などを聞いたあと、楽園内を三十分歩きました。参加者は「歩くだけでも奥深いものがあるんですね。」とか「ポールの扱い方も意外と難しいですね。」などと語っていました。

今年は九十三食分を調理。あゆみの会の人は、前日の食材購入から下ごしらえ、当日の調理と二日かけて、また社協役員は当日の盛り付け、配食と一生懸命でした。



盛り付けをする役員

平成30年度 川島地区社協決算

(単位：円)

科 目	決 算 額
地区社協交付金	512,000
メニュー事業助成金	631,906
地区社協運営費助成金	30,000
寄付金	7,000
雑収入	8
前年度繰越金	1,018,922
収 入 合 計	2,199,836

● 収入の部

科 目	決 算 額
事務費	89,612
メニュー事業	876,471
ボランタリーハウス事業	252,000
ふれあい交流事業	111,395
機関紙の発行	170,000
歳末助け合い特別事業	205,293
食を通した生活支援事業	105,403
福祉座談会	2,611
近隣ケアグループ研修	29,769
メニュー外事業(生涯学習発表会縁日)	57,755
助成金支出	400,854
体育振興会助成金	30,000
地域ボランティア団体助成金	171,000
地域事業助成金	199,854
支 出 合 計	1,424,692



古希の集い

十一月八日、川島ライフレザインセンターで「古希・ひとり暮らし高齢者・介護者の集い」を開催、百十人が参加しました。

この集いは、七十歳になった人の長寿を祝うとともに、ひとり暮らし高齢者の安否確認、介護者にしばし息抜きをしてもらおうとするものです。

今年は、MAGサキンフォーンカルテットの演奏で半日を楽しんでもらいました。曲は「川の流れの

曲、サキソフォーンの四重奏など十数曲を包み、「ふらかく会場をさとの歌も齊唱しました。また、今年は素敵な景品が当たる抽選会も行い、手にした人は笑みを浮かべていました。

終了後、参加者は弁当や古希のお祝い紅白饅頭をもりつて会場をあとにしました。



みんなが主役のまちづくり

日頃から川島地区社協の活動にご尽力、ご理解いただきまして有難うございます。



川島地区社協会長
水谷秋一郎

社会福祉活動に対してあまり縁のなかった私でしたが、会長という要職を仰せつかりいろいろな社協活動に参加させていただき、私なりに社会福祉に関心を持つようになりました。

今まさに、社会問題となっている少子高齢化、孤独死、老々介護、認知症。ひしひしと身近に感じられるようになってきました。多くの高齢者は、少数の若い人に支えてもらい、そして、高齢者でも元気な人は他の人を支えてあげる社会にならねばと思います。

高齢者、若者そして子供たちが、安心で安全に生活できるような地域を創るために、みんなで参加しやすい行事を催し、三世代交流を活発にし、楽しい住みやすい川島の町づくりができればいいなと考えます。

そう考えると、民生委員、ボランタリーハウスや近隣ケアの皆様が地域で活動されていることに頭が下がります。

自分でできることから、地域福祉活動に参加いただき、住みやすい明るい川島になるようご支援ご協力いただければ幸いと考えています。



みたらし頒布風景

クラブ・サークル発表会でみたらし団子を頒布

川島地区社協は、十月二十六日に川島ライフレザインセンターで開催されたクラブ・サークル発表会でみたらし団子の頒布をし、発表会を盛り上げました。

例年ですと、S-L乗車サービスも行つてましたが、今回は都合でみたらし団子頒布のみとなりました。

今年は昨年より三百本多い千本を用意しましたが、好評で午前で売り切れてしまいました。

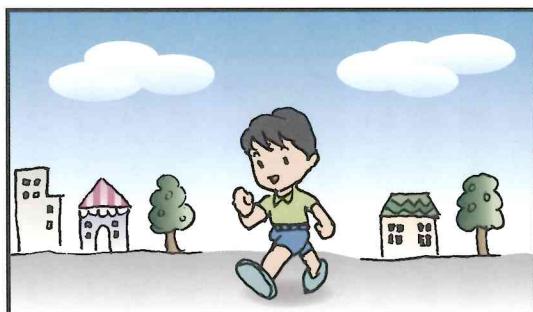
ママの誕生日



十一月十九日、市民会館で行われた市社会福祉大会で、松倉西近隣ケアグループと河田近隣ケアグループ、あゆみの会がボランティア功劳として、また川瀬生身さんほか五人が民生委員功労として表彰されました。

近隣ケアグループは、日頃、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などに声掛けや安否確認などの活動をされ、あゆみの会は本会主催の配食サービスの活動をされていました。

民生委員さんは一期六年地域福祉に貢献されました。



- 薔薇の会
- 杏の会
- ベテイーズ

クリブ・サークル活動発表会での売り上げを寄付いただきました。

福祉のために役立てるasketida

きます。

【安藤順司さん、小島豊彦さん、
小野親夫さん、岩田正二さん、
川瀬生身さん、水野三郎さん】

善意の寄付

十一月一日付けて民生・児童委員が交代されました。新しい民生・児童委員さんは次のとおりです。
(敬称略)

小網町	安藤順司	杉本直子
松倉町	小島豊彦	小島祥司
河田町	松尾勇夫	伊藤和夫
尾関どし子		
松原町	脇田芳弘	水野三郎
緑町	足立美涼	
渡町	川瀬智美	野田眞澄
笠田町	田中正明	中園久義
主任児童委員	水野香織	

※任期は令和四年十一月三十日迄
十一月一日現在

川島地区の概要 (令和元年10月1日現在)

人口	11,723人
世帯数	4,371世帯
児童・生徒数	1,101人
高齢者数	2,704人
高齢化率	23.10%

最近増加しているのが認知症。治療薬など研究されてこなが、実用化にはまだまだほど遠いようである。では、予防といえば・・・よく話をしたり、手指を使ったり、カラオケを楽しんだりするのもいいと言わっている。▼このほど川島シニア連合会のカラオケ大会が渡北公民館で行われ、各地区の代表が自慢の曲を披露した。▼歌われた曲は、懐かしい「岸壁の母」から新しい「うたかたの女」まで時代の流れを映し出し、長年生き抜いてきた齡がにじみ出ている。▼カラオケが参加者同士の交流の場となり、認知症予防や健康増進の一役を担えば、医療費・介護費の抑制にも繋がり一石二鳥だ。カラオケがシニアの方の生活の潤いになることを望みたい。

新しい民生委員決まる

